

奨学金貸与の資格要件を見直す考えは



壇野端 展 雄
(自民公明クラブ)

選考の目安である資格要件の周知内容を見直す

議員 高校・大学在学者への奨学金貸与の資格要件を見直す考えはないか。
教育部長 条例に規定する資格要件は、選考の目安として設けているもので、申請の時点で、この目安で一律に申請を受け付けないわけではありません。奨

学生の選考は、申請者の家庭の経済状況や成績等を考慮して総合的に判定しています。今後は、資格要件の表記を理由に申請をちゅうちよしないよう周知内容を見直し、より多くの学生が活用できるように努めたいと考えています。

議員 新型コロナウイルスワクチン接種後も感染症対策は継続か。
健康福祉部長 引き続きマスクの着用、人との距離を保つ、小まめな手洗いや手指消毒等の基本的な感染防止対策を継続していただくほか、生活や仕事等と一緒に行動している人以外の人との接触の回避、風邪症状等がある場合は外出せず、他人との接触を極力避けるなど、改めて感染予防を広報等で周知したい

と考えています。



ワクチン接種後も引き続き感染症対策を

議員 新たな経済対策はあるのか。

市長 経済状況を回復させるための施策として、昨年に引き続き市内の店舗等で利用できるプレミアム付商品券を発行します。今回は、市民1人1セットの購入を可能とし、年末年始の消費需要に対応した利用期間とするなど、より効果が上がると市民の家計を支援していきたいと考えています。



久 慈 年 和
(市民連合クラブ)

タブレット端末の使用による児童生徒の視力低下防止対策は目の健康などに関する配慮事項を各校へ通知

議員 小中学校に配備されたタブレット端末の使用で視力への影響が考えられるが、直近の児童生徒の視力調査の結果は。
教育部長 令和2年度の児童生徒の裸眼視力1・0未満の割合は、小学生が38・2%、中学生37・3%で、小中ともに前年度を下回っています。県平均の小学生44・6%、中学生60・5%よりもよい状況です。

議員 児童生徒の視力低下を防止する対策は。
教育部長 30分に1回は20秒以上画面から目を離して遠くを見ること、よい姿勢を保ち端

末画面との距離を30センチメートル以上離すこと等の学校での具体的な対処や、テレビを含めた情報機器を家庭で使用するときでも、自身で健康に留意するよう指導することが盛り込まれた、児童生徒の目の健康などに関する配慮事項を年度当初に各校へ通知しました。

議員 タブレット端末を破損した場合の修理費の負担は。
教育部長 導入後1年間の初期不良の保証を除いた修理費は購入者負担ですが、学校内で適切に取り扱った場合の破損や故障については市の負担としています。

議員 森林伐採後の植林地の把握は。
農林商工部長 正確な数値は算出できませんが、把握している情報から試算すると、令和元年度末時点の再造林率は17・6%となっています。

議員 山が荒廃すると土砂崩れ等の災害のおそれもあるため再造林率を上げてほしい。
議員 山が荒廃する



森林資源の維持造成の推進を